

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	嘉悦大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カエツダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	プロジェクト1・2・3
	学部・研究科等名	ビジネス創造学部
	担当教職員名・役職	ビジネス創造学部 准教授 岩月基洋/ビジネス創造学部 准教授 真鍋雅史
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	21
	受入企業等数	2
受入企業等名	株式会社プロントコーポレーションベストウェスタン東京西葛西	
インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業が運営する店舗にて研修を実施。店舗運営に関して実店舗や業務面での提案、また新規メニューや企画の提案を担当社員、役員等の前でプレゼンテーションを行う。その他、ホテルのフロント業務を通じて外国人も含めた接客体験を実施し、その後ホスピタリティ対応の企画プレゼンテーションを行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次~3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	6単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	プロジェクトは、企業の現場に行き、体験と研究を繰り返しながら学ぶ科目である。インターンシップと異なる点は、休暇期間に加え、通常の授業期間の水曜日に毎週行う点にある。「プロジェクト1」は2年次の春学期、「プロジェクト2」は2年次秋学期、「プロジェクト3」は3年次の春学期に行い、各2単位を付与している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)		

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	一年次に履修するプロジェクトエントリーという科目で社会人としてのマナーや守秘義務の遵守など社会人基礎力を養う授業を行っている。またICT科目を通してビジネスでも利用できるPCの使用方法等を身に付ける授業等を行っている。プロジェクト科目とセットで履修する研究会においては、受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	プロジェクトやインターンシップにおいては日報やレポートの作成を通して、現場体験の振り返りを行っている。また学期後には報告会を行い、インターンシップの成果についての振り返りを行い、成果目標の達成について確認を行っている。また別企業に赴いた学生との情報共有のほか教員などからのフィードバックも行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	事前にガイダンスを行い業務内容や心構えについて教職員が指導を行っている。教職員がインターンシップ中に学生と面談を行い、学生の状態を把握しながら目的達成に向けた指導を行う他、インターンシップ先の担当者による評価及び学生本人が作成する日誌を用いて事後の振り返りも行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施前の就業意識を一年次に履修するプロジェクトエントリー等の授業を通して整理した上で、インターンシップ後の報告会では口頭発表のほかペーパー課題も課してインターンシップを通して学んだことやそれによる意識・行動の変容を報告させるようにしている。プロジェクト1~3の履修を通して二年次と三年次の計2回報告会が行われるため、長期にわたる変化も捉えることができる。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間7~15日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間12日間(うちインターンシップ実施期間7日)／実施期間120日間(うちインターンシップ実施期間15日)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	(株)フロントコーポレーションにおいては準備段階として、実習に必要な知識の習得、複数の店舗の視察など短期プログラムを3日間程度実施している。インターンシップでは、店舗研修を事前・事後学習と併せて9日間程度実施し、計12日間のプログラムとして実施している。ベストウェスタン東京西葛西において秋学期を通じて事前研修と事後研修を行い、インターンシップは計15日間のプログラムとして実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとつての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	提携先企業には事前にプロジェクトの意義や目的をご理解いただいた上で、企業での実習や講義を通して、与えられた課題を自らの力で解釈し提案する力を実践的に身に着ける場を設けていただいている。特にプロジェクト2では、提案に独自の視点を盛り込む訓練を行う他、外部資料や数値を用いた分析方法を学ぶ。一年に及ぶ企業実習を通し、業界や自己について分析し発信することで、次年次以降の学習目標を立てる。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問	大学等名	嘉悦大学

問い合わせ先	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	キャリアセンター長
	担当者氏名	南部智子
	電話番号	042-460-7646
	メールアドレス	career@kaetsu.ac.jp